



2020年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月9日

上場会社名 三光合成株式会社

上場取引所 東

コード番号 7888 URL <http://www.sankogosei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒田 健宗

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 芹川 明

TEL 0763-52-7105

四半期報告書提出予定日 2020年1月10日

配当支払開始予定日

2020年2月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト・機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第2四半期の連結業績(2019年6月1日～2019年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第2四半期	28,876	4.1	640	45.8	351	66.0	249	66.5
2019年5月期第2四半期	27,733	8.0	1,181	21.0	1,032	23.7	744	27.9

(注) 包括利益 2020年5月期第2四半期 347百万円 (61.9%) 2019年5月期第2四半期 911百万円 (32.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第2四半期	8.18	
2019年5月期第2四半期	26.04	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期第2四半期	51,041	20,086	38.4	643.27
2019年5月期	48,117	19,985	40.5	638.66

(参考) 自己資本 2020年5月期第2四半期 19,609百万円 2019年5月期 19,469百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期		7.00		7.00	14.00
2020年5月期		7.00			
2020年5月期(予想)				7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年5月期の連結業績予想(2019年6月1日～2020年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,000	5.2	1,600	29.0	1,000	51.6	700	48.3	22.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年5月期2Q	30,688,569 株	2019年5月期	30,688,569 株
期末自己株式数	2020年5月期2Q	204,637 株	2019年5月期	204,630 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年5月期2Q	30,483,935 株	2019年5月期2Q	28,601,741 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、グローバル経済の後退懸念や消費増税の影響もあり、弱含みで推移いたしました。一方、世界経済は、米中貿易摩擦の長期化や中国経済の減速等、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

この様な状況のもと、当社グループでは前連結会計年度に引き続き、付加価値の高い製品の受注と生産体制の整備を強化し、原価低減活動を積極的に進めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は28,876百万円（前年同期比4.1%増）となり、利益面におきましては、営業利益は640百万円（前年同期比45.8%減）、経常利益は351百万円（前年同期比66.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は249百万円（前年同期比66.5%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 日本

車両用内外装部品は減収となりましたが、情報・通信機器部品及び金型は増収となり、売上高は12,636百万円（前年同期比1.7%増）、セグメント利益は584百万円（前年同期比28.5%減）となりました。

② 欧州

金型は微増で推移しましたが、車両用内外装部品の減収により、売上高は3,310百万円（前年同期比12.4%減）、セグメント利益は255百万円（前年同期比26.1%減）となりました。

③ アジア

金型は増収となりましたが、タイ及びインドネシアでの車両用内外装部品の減収もあり、売上高は8,968百万円（前年同期比1.3%増）となり、セグメント利益は176百万円（前年同期比50.1%減）となりました。

④ 北米

車両用内外装部品及び金型の受注増加により売上高は3,961百万円（前年同期比48.4%増）となりましたが、新製品の立上げ準備費用の増加による影響もあり、セグメント損失は13百万円（前年同期はセグメント利益18百万円）となりました。

なお、部門別の売上の状況は、次のとおりであります。

部門別		当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	
		売上高(百万円)	前年同四半期比(%)
成形品	情報・通信機器	3,629	5.7
	車両	17,024	△3.6
	家電その他	2,139	5.7
成形品計		22,794	△1.4
金型		6,082	31.6
合計		28,876	4.1

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の変動状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、51,041百万円（前連結会計年度末比2,923百万円増）となりました。これは、受取手形及び売掛金が708百万円並びに有形固定資産が1,828百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、30,954百万円（前連結会計年度末比2,822百万円増）となりました。これは、支払手形及び買掛金が1,109百万円、長期借入金が824百万円、リース債務が1,251百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、20,086百万円（前連結会計年度末比100百万円増）となりました。これは、為替換算調整勘定が110百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は6,354百万円となり、前連結会計年度末より704百万円減少しました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は1,261百万円（前年同期比3.7%増）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益306百万円及び減価償却費1,469百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,805百万円（前年同期比14.5%増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1,714百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は241百万円（前年同期は1,750百万円の獲得）となりました。これは主に長期借入金の借入による収入2,231百万円、長期借入金の返済による支出1,408百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況を勘案し、2019年7月3日に公表いたしました2020年5月期の連結業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日（2020年1月9日）公表の「2020年5月期第2四半期連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,059	6,354
受取手形及び売掛金	12,524	※ 13,233
商品及び製品	1,236	1,197
仕掛品	2,010	2,542
原材料及び貯蔵品	764	809
その他	1,835	2,419
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	25,431	26,556
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,606	7,739
機械装置及び運搬具(純額)	8,197	8,467
工具、器具及び備品(純額)	1,028	1,421
土地	4,540	4,695
建設仮勘定	1,114	990
有形固定資産合計	21,487	23,315
無形固定資産		
のれん	176	162
その他	406	411
無形固定資産合計	583	573
投資その他の資産		
投資有価証券	13	15
その他	602	579
投資その他の資産合計	616	595
固定資産合計	22,686	24,484
資産合計	48,117	51,041

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,097	※ 10,206
短期借入金	2,404	2,056
1年内返済予定の長期借入金	2,663	2,707
1年内償還予定の社債	150	150
未払法人税等	257	124
賞与引当金	131	123
役員賞与引当金	31	—
その他	4,174	※ 4,545
流動負債合計	18,909	19,913
固定負債		
社債	225	150
長期借入金	5,928	6,709
役員退職慰労引当金	23	23
退職給付に係る負債	981	962
その他	2,064	3,196
固定負債合計	9,222	11,041
負債合計	28,132	30,954
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,008	4,008
資本剰余金	4,087	4,087
利益剰余金	13,081	13,084
自己株式	△43	△43
株主資本合計	21,134	21,137
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4	△4
退職給付に係る調整累計額	△325	△299
為替換算調整勘定	△1,335	△1,224
その他の包括利益累計額合計	△1,665	△1,528
非支配株主持分	516	476
純資産合計	19,985	20,086
負債純資産合計	48,117	51,041

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
売上高	27,733	28,876
売上原価	23,254	24,834
売上総利益	4,479	4,042
販売費及び一般管理費	※ 3,297	※ 3,401
営業利益	1,181	640
営業外収益		
受取利息及び配当金	16	14
受取賃貸料	31	32
その他	43	26
営業外収益合計	90	73
営業外費用		
支払利息	127	167
為替差損	26	31
デリバティブ損失	—	112
その他	86	51
営業外費用合計	239	362
経常利益	1,032	351
特別利益		
固定資産売却益	6	0
国庫補助金	—	39
特別利益合計	6	39
特別損失		
固定資産除却損	7	29
固定資産売却損	1	5
関係会社株式売却損	16	—
スワップ差損	39	—
特別退職金	—	9
固定資産圧縮損	—	39
特別損失合計	65	84
税金等調整前四半期純利益	973	306
法人税等	214	108
四半期純利益	759	198
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	14	△50
親会社株主に帰属する四半期純利益	744	249

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	759	198
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	118	121
退職給付に係る調整額	34	25
その他の包括利益合計	152	148
四半期包括利益	911	347
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	892	386
非支配株主に係る四半期包括利益	19	△39

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	973	306
減価償却費	1,275	1,469
のれん償却額	15	14
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△29	0
投資損失引当金の増減額 (△は減少)	△276	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	14	51
受取利息及び受取配当金	△16	△14
支払利息	127	167
関係会社株式売却損益 (△は益)	16	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	△5	5
有形固定資産除却損	7	29
スワップ差損益 (△は益)	39	—
デリバティブ評価損益 (△は益)	—	112
売上債権の増減額 (△は増加)	△550	△596
たな卸資産の増減額 (△は増加)	173	△518
その他資産の増減額 (△は増加)	227	△522
仕入債務の増減額 (△は減少)	△401	1,028
その他負債の増減額 (△は減少)	△109	160
その他	114	20
小計	1,598	1,713
利息及び配当金の受取額	16	14
利息の支払額	△122	△178
法人税等の支払額	△275	△288
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,216	1,261
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△1,543	△1,714
有形固定資産の売却による収入	20	3
その他	△53	△93
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,576	△1,805

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,029	△403
長期借入金の借入れによる収入	4,660	2,231
長期借入金の返済による支出	△1,391	△1,408
社債の償還による支出	△155	△75
株式の発行による収入	2,228	—
リース債務の返済による支出	△410	△371
配当金の支払額	△152	△213
非支配株主への配当金の支払額	△0	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,750	△241
現金及び現金同等物に係る換算差額	137	79
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,528	△704
現金及び現金同等物の期首残高	6,898	7,059
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 8,426	※ 6,354

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間において、新たに設立した「三光合成九州株式会社」及び「SANKO GOSEI Czech, s. r. o.」を連結の範囲に含めております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、新たに設立した「三光合成九州株式会社」及び「SANKO GOSEI Czech, s. r. o.」を連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に計上しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の有形固定資産が690百万円増加し、流動負債のその他が98百万円及び固定負債のその他が635百万円増加しております。当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算 書(注) 2
	日本	欧州	アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,428	3,780	8,853	2,670	27,733	—	27,733
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,428	8	550	1	1,989	△1,989	—
計	13,857	3,789	9,404	2,671	29,723	△1,989	27,733
セグメント利益	817	345	354	18	1,536	△354	1,181

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去31百万円及び各報告セグメントに配分していない
 全社費用△386百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年6月1日至2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損 益計算 書(注)2
	日本	欧州	アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,636	3,310	8,968	3,961	28,876	—	28,876
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,345	16	482	6	1,850	△1,850	—
計	13,981	3,326	9,451	3,967	30,727	△1,850	28,876
セグメント利益又は損失(△)	584	255	176	△13	1,002	△362	640

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去0百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△362百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。